

**製品名: TWIK-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19444**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	KCNK1
別名	KCNK1; HOHO1; KCNO1; TWIK1; Potassium channel subfamily K member 1; Inward rectifying potassium channel protein TWIK-1; Potassium channel KCNO1
遺伝子 ID	3775.0
SwissProt ID	O00180
免疫原	抗血清はヒト KCNK1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 287-336

**背景**

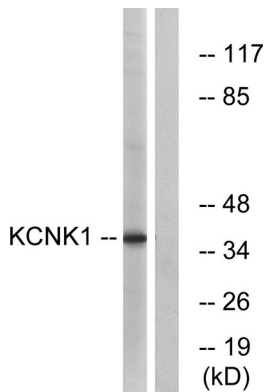
この遺伝子は、2つのポア形成Pドメインを含むカリウムチャネルタンパク質スーパーファミリーのメンバーの1つをコードしています

す。この遺伝子産物が機能的なチャネルであることは示されていませんが、活性には他の非ポア形成タンパク質を必要とする可能性があります。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: 弱内向き整流性カリウムチャネル。 ,その他: バリウム、キニーネ、キニジン、および体内の酸性化によって阻害されます。プロテインキナーゼCによって活性化されます。 ,類似性: 2ポアドメインカリウムチャネル (TC 1.A.1.8) ファミリーに属します。 ,サブユニット: ホモ二量体。 ,組織特異性: 心臓と脳で高発現し、胎盤、肺、肝臓、腎臓では低発現です。 ,

## 研究分野

神経科学; 神経伝達受容体/チャネル; カリウムチャネル; シグナル伝達; 代謝; 細胞膜; チャネル

## 画像データ



KCNK1 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。